

編集後記

南の方より桜開花の便りが届いてから2ヶ月ほど経ち、やっと北海道にもあちこちで開花したとのニュースが流れてきました(5月上旬執筆当時)。本号が発行されている時にはとくに桜も散り、(暑がり&寒がりの)私が北海道で一番好きな季節である初夏の香りが漂っているのでしょうか、日本列島の南北の長さを痛感しています。

さて、例年うきうきしているであろうこの時期、今年に限りちょっと憂鬱になっています。私が所属する研究室の引っ越しがあるためです。建家の老朽化に伴う取り壊しや改築のため、当大学工学部では、数年来より一部の研究室が移転していましたが、とうとう当研究室周辺の番になりました。当研究室では、主に実験装置を用いた研究を行っており、プラズマ発生装置、表面分析装置などの実験装置を多数有しております。そのため、引っ越しの準備が大変であるとともに、引っ越し準備から新しい部屋へ装置設置するまで実験ができなくなります。周りの方のご配慮によ

り、当研究室の引っ越しは1回ですむようですが、2回引っ越しする研究室も…。卒論、修論研究の進捗状況が例年に輪をかけて気になります。少し前には大学における私の居室の引っ越しもありました。昨年末ころは自宅の引っ越しも考えていましたが、しばらくはこりごりです…。

編集委員を拜命してから、まもなく2年になります。編集委員の仕事としては、解説等の記事の企画立案・調整、記事の最終校正などがあります。特に重要であると思っていますのは、月1回行われています編集委員会における、記事企画に関する議論です。残念ながら当方の都合がなかなかつかず、出席できないことも多いのですが、記事企画についてかなり活発な議論が行われ、よりよい学会誌になるよう日々努力がなされています。読者の皆様には、毎月お手元に届きます学会誌を是非ともご一読いただき、さらに魅力的な学会誌になるようご意見などお寄せいただければ幸甚に思います。

(山内有二)

プラズマ・核融合学会役員

会 長	高村 秀一	副 会 長	藤原 正巳	松田慎三郎	常務理事	岡村 昇一 (総務委員長)
理 事	秋山 秀典 尾崎 章 (財務委員長) 佐野 史道 畑山 明聖 森 雅博 (広報委員長)		今井 剛 際本 泰士 (広告委員長) 田中 和夫 (編集委員長) 浜口 智志 (出版委員長) 吉田 善章 藤山 寛		奥野 健二 (プログラム委員長) 佐藤浩之助 (企画委員長) 畠山 力三 本島 修	
監 事	長谷川 満					

プラズマ・核融合学会誌編集委員会

編集委員長・チーフエディター 田中和夫 (阪大)

エディター 関子秀樹(九大)、関 昌弘(RIST)、田中雅慶(九大)、福山 淳(京大)、村上匡且(阪大)、行村 建(同志社大)

編集委員 荒巻光利(名大院工)、飯塚 哲(東北大院工)、石黒静児(核融合研)、岩尾 徹(武蔵工大)、岩切宏友(九大応力研)、上田良夫(阪大院工)、越智義浩(原子力機構)、片沼伊佐夫(筑波大プラズマ)、門 信一郎(東大高温プラズマ)、加藤太治(核融合研)、北島純男(東北大院工)、北野勝久(阪大院工)、小口治久(産総研)、佐伯絃一(静大理)、重森啓介(阪大レーザー研)、洲 亘(原子力機構)、妹尾和威(核融合研)、高橋栄一(産総研)、高山有道(核融合研)、谷口和成(京都教育大)、永岡賢一(核融合研)、長崎百伸(京大エネ理研)、野崎智洋(東工大院)、平松美根男(名城大理工)、増崎 貴(核融合研)、山内有二(北大院工)、山本 巧(原子力機構)

乱丁・落丁本は、ご面倒ですが学会編集委員会宛ご送付ください。送料当方負担にてお取り替えいたします。

プラズマ・核融合学会誌第83巻第6号

編集・発行

〒464-0075 名古屋市千種区内山3丁目1-1 4階

社団法人 プラズマ・核融合学会 編集委員会

Tel. 052-735-3185 Fax. 052-735-3485

E-mail: plasma@jspf.or.jp URL: http://www.jspf.or.jp/

印刷 株式会社荒川印刷

2007年(平成19年)6月25日

定価1,365円(本体1,300円)

本誌に掲載された寄稿等の著作権は(社)プラズマ・核融合学会が所有しています。

編集委員会開催日について 当学会誌の編集委員会は原則として、毎月第1火曜日に開かれています。但し、都合により変更になる場合があります。